

平成 20 年度麻布大学同窓会山形県支部総会報告

“ハーモニカの音に夜は更けて”

平成 20 年 5 月 26 日(金)に将棋の駒の生産日本一の「天童温泉」において、山形県支部総会が開催されました。大学本部より川上静夫先生をお迎えし、勝見巖支部長他 17 名の少数精鋭の会員が参集し、例年どおり支部総会、懇親会と無事終了いたしました。川上静夫先生からは、学内校舎の学部配置など大学の近況を詳しくお聞かせいただき、また和気あいあいの和みのある支部総会との感想をいただきましたことは、出席者には最大の賛辞と承りました。

今年の参加者は例年より若干少なかったものの先輩方には相変わらずの元気なお姿を拝見し、例によって懇親会ではますます盛んに盃が進む中、川上静夫先生はまるで予定していたようにおもむろにハーモニカを準備し、軽やかな音色を披露されました。戦後？を髣髴とさせる懐かしい曲だったのかも知れませんが、ハーモニカの現代音楽にはない何ともいえない音感はしばし会員の心にセピア色の風景が映し出された感じでした。

ハーモニカの余韻を残しながら、仲居さんの「そろそろ・・・」という言葉に後押しされて宴は二次会場に移されたわけですが、すでに退職された方が半数近くであるにもかかわらずバイタリティに溢れ、これぞ「同窓会」と、来年の盛会を確信して白河夜船となりました。雑文ですが支部総会の報告とさせていただきます。
(山形県支部 獣医学部 S55 卒 高橋昭一)

人間将棋

